小6 中学受験 算数 きほん こたえ　名前 ＿＿＿＿＿＿

点の移動とグラフ

＿＿＿月＿＿＿日

れい 点Pの位置は道のり＝速さ×時間で出し、頂点を通るごとに辺をかぞえて、どの辺の上かを決める
円周上を回る2点は、1秒に進む角度の差で、重なる(360°差)・反対がわ(180°差)を考える

1 辺の上を動く点 基本

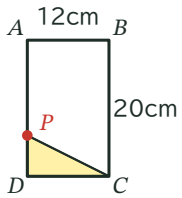
次の問いに答えなさい。

☐ (1) 図の長方形ABCDの辺の上を、点Pは頂点Aを出発して、A、B、C、Dの順に毎秒4cmの速さで1周し、Aにもどると止まります。AB＝12cm、BC＝6cmのとき、点Pが止まるのは、出発してから何秒後ですか。



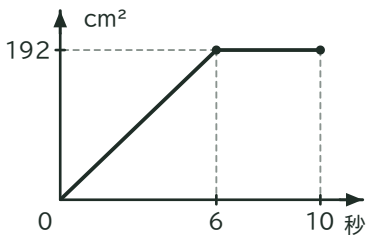
$(12+6)\times 2=36$　$36\div 4=9$　答え 9秒後

☐ (2) 図の長方形ABCDで、点Pは頂点Dを出発して、辺DA、ABの上をA、Bの順に毎秒3cmの速さで動きます。三角形PCDの面積がはじめて36cm²になるのは、出発してから何秒後ですか。



$36\times 2\div 12=6$　$6\div 3=2$　答え 2秒後

☐ (3) 長方形ABCDの辺の上を、点Pが頂点Bを出発して、辺BC、CDの上をC、Dの順に一定の速さで動きます。グラフは、点Pが頂点Dに着くまでの、三角形ABPの面積と、出発してからの時間の関係です。AB＝16cmのとき、点Pの速さは毎秒何cmですか。



$192\times 2\div 16=24$　$24\div 6=4$　答え 毎秒4cm

できた ＿＿＿ / 3問

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら